

学連での学生生活を振り返って学んだこと

四国学生卓球連盟 幹事長 多賀雅

私は、四国学生卓球連盟の幹事長を務めさせていただきました。幹事長としての忙しい日々を過ごしていく中で様々なことを学びました。

1つ目に学んだことは、他の学連員の意見を十分に聞くことの重要性でした。自分だけでなく、チーム全体の視点を取り入れることで、物事がスムーズに進むことを実感しました。

2つ目に学んだことは、大会の運営に携わる多くの人々の重要性です。表立った役割だけでなく、裏方として協力してくれる人々が一体となって大会が成り立つことを理解しました。縁の下で支える存在が、成功に欠かせないと感じました。

3つ目に学んだことは、様々な人との関わりで礼儀を身につけることでした。学生や大会に協力する大人やOBなど、異なるバックグラウンドを持つ人々との接点が増えました。相手に対して敬意を払い、礼儀正しく接することで、良い経験を積み重ねながら成長することができました。

四国の学生連盟の幹事長としての日々は挑戦と困難がありましたが、その中で良い経験を得て成長することができました。1年間の幹事長生活は、自分にとって非常に貴重な時間となりました。協力してくれた方々には感謝してもしきれません。ありがとうございました。

最後までお読みいただきありがとうございました。